

佳作

【工法の種類】 アイワン工法＋
部分開口合板工法

【応募者名】 株式会社 クサカ



安城市 A邸

建築年：昭和43年 在来軸組工法
土葺瓦屋根 土3塗り壁 平屋54



アイワン外付筋交



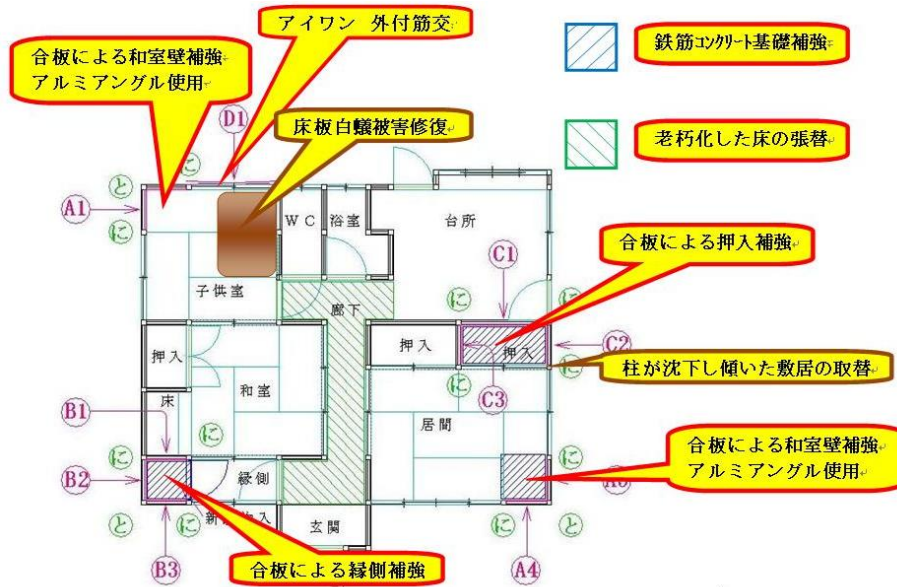
完成

北面外壁は水回りが多く壁が少ない。子供室の開口部にアイワンを設置して、配置による低減を解消した。

改修前 0.52 改修後 1.43
工事費 ¥1,510,000
工事期間 2週間



水田に近く、補強壁にはべた基礎補強。補強壁の接合部金物はIに改善。アカーボルトは径12mm既設基礎負担を軽減。



合板による和室壁補強 アルミアングル使用



完成

家具が多く夜間は寝室に戻す子供室の壁補強方法は柱にアルミアングルを取付た 部分開口合板補強。1 日目にクロス下地兼用合板を張り、家具を戻す。2 日目にクロスを貼り完成。畳交換時に白蟻被害が発覚し、急ぎよ根太掛け・根太・床板の交換をした。床下に湿気も多く床下がった廊下や押入敷居は既存撤去し、水平を確認して復旧した。

【講評】

本事例は、子供室北外面に外付けワンサイドボルトによる「アイワン」ブレースを1構面採用し、一部の土壁を撤去してアルミアングル枠材と構造用合板の補強壁を建物の要所にバランス良く配置するなど、合理的な耐震改修を実現している。築後40年を経過し白蟻食害や老朽化した床下地の改修する必要があったことや、居ながら工事の希望に対応する必要もあり、それらの要求を満足するための施工上の種々の工夫も含め、本改修例は高く評価された。